

(様式4)

情報公開文書

課題名 : 骨折手術術前の深部静脈血栓症に対する下大静脈フィルターの有効性
研究期間: 倫理委員会承認日～2023年3月31日

1. 研究の対象

2017年4月1日～2021年6月30日に当院で骨折手術の術前に下肢近位型の深部静脈血栓が発生し、下大静脈フィルターを受けられた方

2. 研究目的・方法

整形外科領域の骨折ではその手術前～手術後にかけて血栓形成の危険性が高いことが知られており、特に股関節周囲骨折では深部静脈血栓症の危険性が高いことがわかっています。深部静脈血栓症は肺血栓塞栓症を引き起こすことがあるため注意が必要であり、場合によっては下大静脈フィルターの留置が推奨されています。今回は整形外科領域における骨折手術の術前に下大静脈フィルターを留置した症例を調査し、その有効性について検討したいと考えております。

3. 研究に用いる試料・情報の種類 ※試料…血液、組織、細胞、体液、排せつ物などヒトの体の一部

情報: 年齢、性別などの基本情報、body mass index(BMI)、骨折部位、重複骨折の有無、既往症、血栓の発生部位、受傷から血栓同定までの日数、合併症、受傷前の抗凝固薬内服の有無、血液検査結果、血栓発見からフィルター留置までの日数、フィルター抜去の有無、フィルター留置から抜去までの日数、捕捉された血栓の有無、入院中の肺塞栓発症の有無

4. 外部への試料・情報の提供

外部への試料・情報の提供はありません。

5. 研究組織

この研究は当院のみで実施されます

6. 個人情報の取扱い

情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。
また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:
浜松医療センター 整形外科 杉本遼介(研究責任者)
住所: 浜松市中区富塚町 328
電話: 053-453-7111(代表)

2021年8月31日作成